外国語活動	第５学年	三原市立小泉小学校	平井　博道

単元名

憧れの人物を友達に紹介しよう
～「Who is your hero?」～（We Can! 1 Unit9）

本単元で育成する資質・能力　表現力

○　令和元年 11 月 26 日（火）　第５校時

1　単元について

（１）教材観

本単元は，自分が憧れたり尊敬したりしている人を題材としており，単元のゴールとしては，学級の友達に向けて自分の憧れの人物について紹介するという活動を設定している。授業中の児童のやりとりとしては，“We Can! 1” の Unit 5「She can run fast. He can jump high.」において学習した can に加え，be good at~. の表現を用いながら憧れの人物を紹介することをねらいとしている。単元の終末では，憧れの人物を友達と紹介し合う場面を設定しており，音声で十分に慣れ親しんだ語句や基本的な表現を，例文を参考にしながら書き写し，発表の際に用いるポスターを作成する。

本単元では，憧れの人物だけでなく，自分のできることや得意なことを交流したり，認め合ったりする活動を通して，子どもたちの自尊感情を育てることができると考える。また，自分と他人との違いを受け入れたり，互いの考え方や理想とする生き方に触れたりすることもできる単元である。

（２）児童観

本学級の児童は，第４学年時に Let’s Try! 1 及び，Let’s Try! 2 を活用して，年間35時間の外国語活動の授業を受けている。今年度は，外国語活動を年間70時間設定し，１週間に２時間程度の授業を実施している。本単元を実施するにあたり事前調査を行ったところ，次のような結果になった。

調査項目	肯定的評価（割合）
①　外国語活動の授業に進んで参加しています。	18/19（95%）
②　外国語活動の授業では，英語を使う場面を考えながら活動しています。	18/19（95%）
③　外国語活動の授業では，日本と外国のくらしや習慣，文化などのちがいを知ることができます。	17/19（89%）
④　相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば，どのイラストや写真のことを話しているか分かります。	17/19（89%）
⑤　相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば，だいたいの内容が分かります。	19/19（100%）
⑥　英語でやり取りをする時には，相手の言ったことにうなずいたり，英語で返事したりしています。	18/19（95%）
⑦　英語でやり取りをする時には，会話が続くように，知っている表現を使うようにしています。	17/19（89%）
⑧　英語でやり取りや発表をする時には，自分の考えや気持ちなどを伝えています。	17/19（89%）
⑨　書くことのきまりを意識し，例文を参考に，四線上に英文を書き写すことができます。	18/19（95%）
⑩　言葉や文の読み方や意味を推測しながら読んでいます。	18/19（95%）

事前調査の結果，どの項目においても約 90%以上の数値となっており，外国語に対して苦手意識を持っている児童が少ないと考えられる。「⑦英語でやり取りをする時には，会話が続くように，知っている表現を使うようにしています。」に対する肯定的評価が約 90%であることから，既習表現を使おうとしている児童は多いが，実際の授業では，単元を超えて既習の表現や語を活用できている児童は少ない。Small Talk などの活動の中で，既習表現や語を活用し定着させる場を設定していく。

「⑨書くことのきまりを意識し，例文を参考に，四線上に英文を書き写すことができます。」に対する肯定的評価は 95%であるが，書くことについての経験は浅い。したがって，書く活動を行う際には，音声で十分に慣れ親しませた上で書かせることは勿論，言葉を発音させたりなぞったりさせてから，書き写させるなど，スモールステップでの指導を行う。

（３）指導観

指導に当たっては，児童に対して「憧れている人物は誰か」「どのようなところに憧れているか」というアンケートを事前にとっておくことで，自分の憧れの人物をイメージしながら学習に取り組むことができるようにする。児童に単元のゴールイメージを持たせるために，単元の導入場面において，教師にとっての憧れの人や，ALT にとっての憧れの人を聞いたりする時間を設定することで，「自分もあんな風に紹介してみたい。」という思いを持たせ，学習を進めていく。また，憧れの人を紹介する際に，これまで学習した表現の中で使えそうなものはないか考えさせ，“We Can! 1” の Unit 5「She can run fast. He can jump high.」の中で，第三者について can を用いて，できることやできないことを表す表現を学習したことを想起させ，活用させていく。また，本単元では，憧れの人物を表す言葉として，cool や great などの形容詞を導入する。友達とやりとりさせていく中で，自分の憧れの人物を紹介するときに使える表現に，十分に慣れ親しませていく。

児童が安心してやりとりができるように，授業の中で児童が言い間違えた時には，間違いを指摘するのではなく，正しい表現で言い直して聞かせたり，Nice try! Good job! などと肯定的な評価をしたりする。また，自分の言いたいことをどのように表現すればよいか分からないときには，ALT に尋ねさせたり，既習から使えそうな表現をみんなで考えさえたりする。児童の実態に合わせ，失敗を恐れずにコミュニケーションを行うことができるような雰囲気づくりと指導を行う。

書く活動を行う際には，どのように語を書いてよいか分からない児童のために，事前アンケートで得た情報をもとに，ワードリストを準備しておき，授業の中で資料として配布したり，掲示したりすることで，自分の使いたい語を選ぶことができるようにしておく。１時間の授業の中で，音声で十分に慣れ親しんだ一文について，授業の終わりに書くという流れを単元を通して実施していく。単元の終わりには，それまでに書き溜めた文を参考に，１枚の用紙に書き写させ，発表の際に用いるポスターを作成させる。

２　単元の目標

〇憧れの人物について，自分の考えや気持ちを含めて伝え合おうとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

〇憧れの人物について尋ねたり，答えたりする表現に慣れ親しむ。　【外国語への慣れ親しみ】

〇憧れの人物について簡単な語句や基本的な表現を用いて，例文を参考に書き写すことに慣れ親しむ。

【外国語への慣れ親しみ】

〇新出表現・語彙の示す意味に気付いている。　【言語や文化に関する気付き】

3　単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
憧れの人物について，自分の考えや気持ちを含めて伝えたり，友達の発表を聞いたりしている。	①憧れの人物について尋ねたり，答えたりする表現に親しんでいる。 ②憧れの人物について簡単な語句や基本的な表現を用いて，例文を参考に書き写すことに慣れ親しむ。	新出表現・語彙の示す意味や英語の表記の仕方に気付いている。

4　単元のゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	自分が憧れたり尊敬したりする人について，自分の考えや気持ちを含めて友達に紹介する。
目指す児童の姿 （話すこと［発表］）	My hero is Sanji. He is a pirate. He can cook. He is good at kicking. He is gentle.

5　言語材料(下線は新出表現，語彙)

主な表現	主な語彙
<u>Who is your hero?</u> This is my hero. <u>[He / She] is good at (playing tennis).</u> <u>[He / She] is a good (tennis player).</u> [He / She] can (cook well). <u>[He / She] is [kind / cool / great / strong / gentle / active / brave / funny].</u>	職業名（児童の希望に沿って） hero, flute, family, 状態・気持ち（active, cool, fantastic, friendly, gentle, kind, brave, funny, strong, tough）

6　本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校で育成しようとしている資質・能力は以下の５点である。

①思考力　②表現力　③主体性　④自分と他者を尊重する心　⑤知識・理解

この中から，本単元において育成しようとする資質・能力について，つぎの点に重点を置く。

②表現力

7　指導と評価の計画

（全８時間）

時	目標（◆）と主な活動（○） 【　】＝誌面化されている活動	評価規準 評価方法	表現例
1	**課題の設定** **情報の収集** ◆憧れの人物の紹介の仕方が分かるとともに，単元の見通しをもつ。 ○Small Talk：先生の憧れの人 教師と ALT の憧れの人についてのやりとりを聞き，単元のゴールイメージを持つ。 ○【Let's Watch and Think】 映像資料を視聴し，自分にとってのヒーローヒロインについて話すのを聞き，分かったことを話し合う。 ○【Let's Talk】: 憧れの人物 ○【Let's Write】 憧れの人物についてワードリストから言葉を選んで書き写し，１文書く。 （My hero is ~.）	【気】新出表現・語彙の示す意味や英語の表記の仕方に気付いている。 ≪行動観察・振り返りカード≫	・Who is your hero? ・【He / She】is my~. ・【He / She】is my hero. ・【He / She】is good at（　～　）. ・I can　（　～　）.
2	**情報の収集** ◆憧れの人物がどのような人なのかを紹介する表現に慣れる。 ○【Let's Listen 1】 登場人物が，何が得意かを聞いて，線で結ぶ。 ○【Let's Watch and Think】 後半の映像を視聴し，分かったことを誌面に書く。 ○【Let's Chant】Who is your hero? ペアで誌面イラストをヒントに質問をして，相手のことを知る。 ○ポインティングゲーム＆キーワードゲーム ○【Let's Talk】: 憧れの人物はどんな人か ○【Let's Write】 憧れの人物についてワードリストから言葉を選んで書き写し，２文書く。 （He / She is ~.）	【慣】憧れの人物について尋ねたり，答えたりする表現に親しんでいる。 ≪行動観察・振り返りカード≫	・Who is your hero? ・【He / She】is my~. ・【He / She】is my hero. ・【He / She】is good at（　～　）.
3	**情報の収集** ◆できることを表す表現に慣れる。 ○【Let's Listen 2】 音声を聞いて，登場人物と，得意なことやできることのイラストを線で結ぶ。 ○【Let's Chant】Who is your hero? ○【Let's Play 2】 前時に Let's Play 1 で友達にインタビュー	【慣】憧れの人物について尋ねたり，答えたりする表現に親しんでいる。 ≪行動観察・振り返りカード・ノート≫	・Who is your hero? ・【He / She】is my~. ・【He / She】is my hero. ・【He / She】is good at（　～　）.

	して分かったことを，別の友達と伝え合う。 ○【Let's Listen 2】 音声を聞いて，登場人物と得意なことやできることのイラストを線で結ぶ。 ○【Let's Talk】：憧れの人物ができること ○【Let's Write】 憧れの人物についてワードリストから言葉を選んで書き写し，３文書く。 （He / She can~.）		
4	**情報の収集** ◆得意なことを表す表現に慣れる。 ○Small Talk：できることや得意なことについてのやり取り ○【Let's Listen 3】 スポーツ選手についての音声を聞いて，聞き取ったことを記入する。 ○【Activity 1】 自分ができること，得意なことを含めてペアで伝え合い，その内容を誌面に記入する。誌面に記入したペアの相手のことについて，別の友達と伝え合う。 ○【Let's Talk】：憧れの人物の得意なこと ○【Let's Write】 憧れの人物についてワードリストから言葉を選んで書き写し，４文書く。 （He / She is good at~.）	【慣】憧れの人物について尋ねたり，答えたりする表現に親しんでいる。≪行動観察・振り返りカード≫	・Who is your hero? ・【He / She】is my~. ・【He / She】is my hero. ・【He / She】is good at（　～　）.
5 本 時	**まとめ・創造・表現** ◆状態や気持ちを表す表現に慣れる。 ○ Small Talk：先生クイズ ○ミッシングゲーム＆キーワードゲーム ○【Let's Talk】：憧れの人物の様子 ○【Let's Write】 憧れの人物についてワードリストから言葉を選んで書き写し，５文書く。 （He / She is ~.）	【慣】憧れの人物について尋ねたり，答えたりする表現に親しんでいる。≪行動観察・振り返りカード≫ ②表現力	・Who is your hero? ・【He / She】is my~. ・【He / She】is my hero. ・【He / She】is good at（　～　）.
6	**まとめ・創造・表現** ◆ペアで憧れの人物について紹介し合う。 ○【Let's Chant】Who is your hero? ○Small Talk：自分の家族のできることや得意なことについて ○ポインティングゲーム＆キーワードゲーム ○【Let's Talk】：憧れの人物の紹介 ペアに向けて自分の憧れの人物を紹介する。 相手の紹介内容について，さらに聞いてみたいことを質問する。	【関】憧れの人物について，自分の考えや気持ちを含めて伝えたり，友達の発表を聞いたりしている。≪行動観察・振り返りカード≫ ②表現力	・Who is your hero? ・【He / She】is my~. ・【He / She】is my hero. ・【He / She】is good at（　～　）.

	○【Let's Write】 これまでに書き溜めてきたワークシートを参考に，憧れの人についてまとまった文章を書く。		
7	**まとめ・創造・表現** ◆グループの友達に自分の憧れの人物を発表する。 ○【Let's Chant】Who is your hero? ○ポインティングゲーム＆キーワードゲーム ○【Activity 2】 登場人物が自分のヒーローを紹介する音声を聞き，内容を理解する。 指導者の質問に答える形で，理解した内容を確認する。 ○【Let's Talk】：憧れの人物の紹介 自分の憧れの人物を紹介する。 発表の後は，発表の良かった点について交流する。	【関】憧れの人物について，自分の考えや気持ちを含めて伝えたり，友達の発表を聞いたりしている。≪行動観察・振り返りカード・ノート≫ ②表現力	・Who is your hero? ・【He / She】is my~. ・【He / She】is my hero. ・【He / She】is good at（　～　）.
8	**まとめ・創造・表現** **振り返り** ◆グループの友達に自分の憧れの人物を発表する。 ○【Let's Chant】Who is your hero? ○ポインティングゲーム＆キーワードゲーム ○【Let's Talk】：憧れの人物の紹介 前時とグループを変え，自分の憧れの人物を紹介する。 発表の後は，発表の良かった点について交流する。	【関】憧れの人物について，自分の考えや気持ちを含めて伝えたり，友達の発表を聞いたりしている。≪行動観察・振り返りカード≫ ②表現力	・Who is your hero? ・【He / She】is my~. ・【He / She】is my hero. ・【He / She】is good at（　～　）.

8　本時の指導計画

（１）目標

憧れの人物について，できることや得意なこと，自分の考えや気持ちなどを含めて伝え合う。

（２）評価規準

憧れの人物について，できることや得意なこと，自分の考えや気持ちなどを含めて伝え合っている。

【外国語への慣れ親しみ】

（３）準備物

電子黒板，絵カード，ワークシート，ワークシート拡大版，振り返りシート

（4）展開

児童の学習活動	指導者の役割	・指導上の留意点 評価規準 教科の指導事項（○） 資質・能力（★） （評価方法）
1．挨拶をする。	T1: Hello. T1: How are you ?（全体へ聞いた後，何人かの児童に尋ねる。） T1: Let's ask Lorna sensei. ALT: How is the weather today? ALT: What day is it? ALT: What is the today's date? ALT: What did you eat for breakfast?	・反応を促しながら，ゆっくり，はっきりと挨拶をする。 ・児童の言い間違いは指摘するのではなく，指導者が正しく言い直して聞かせることで気付かせる。
2．Small Talk 先生クイズ	T1: Today, I have two quizzes for you. He is a teacher. He can run fast. He is good at American football. He is active. Please guess. ALT: She is a teacher. She can swim. She is good at calligraphy. She is gentle. Please guess.	・指導者と児童とのやり取りを通して，既習表現に繰り返し慣れ親しませる。
3．単語の復習をする。 ミッシングゲーム キーワードゲーム	・復習のためのゲームであることを伝える。	
4．単元の流れを振り返り，本時の課題を確認する。	あこがれの人物を表す言葉を聞いたり言ったりしよう。	
5．本時で目指す「表現力」を確認する。		・単元の流れが分かるポスターを掲示し，本時の学習の位置付けが分かるようにしておく。
6．　Let's Talk ・T1 と ALT のデモンストレーションを通して，表現をつかむ。	T1: My hero is Mr. Incredible. Do you know Mr. Incredible? ALT: No, I don't. Who is he? T1: He is a superhero. He can run fast. He is good at fighting. He is strong. ALT: He is good at fighting? T1: Yes, he fights with bad people. ALT: Oh, I see.	・ジェスチャーを付けたり，挿絵で示したりしながら視覚的な情報を与えることで，児童の意味理解を助ける。

	T1: Lorna sensei, who is your hero? ALT: My hero is Chikochan. Do you know Chikochan? T1: Yes, I do. ALT: She is a TV character. She can make people happy. She is good at quizzes. She is interesting. T1: I see. I like Chikochan, too.	
・自分の憧れの人について，その人物を表す語を選択して伝え合う。	・良いペアは取り上げて評価し，何度かペアを替えてやり取りをさせることで表現の幅が広がるようにする。	・何人かの児童に指名してやり取りをさせていくうちに，児童の理解が深まるようにする。
7．憧れの人がどのような人物なのか，ワードリストから１つ選んでワークシートに書き写す。	・児童が使うと予想される語句をイラスト付きのワードリストとして示し，書き写す際の見本とする。	○【慣】憧れの人物について，できることや得意なこと，自分の考えや気持ちなどを含めて伝え合っている。≪行動観察・振り返りカード≫
8．ふりかえりをする。 本時の活動をふりかえりカードに記入する。	・本時のねらいに照らして全体に共有しながら，児童の評価をする。	★②表現力

（5）　目指す子どもの姿

②　表現力	自分の憧れの人物について紹介する際に，既習表現を使って話したり，聞いたことに対してその場で繰り返したり，質問したりすることができる。

（6）　板書計画

天気　Thursday　November　26th

あこがれの人物を表す言葉を聞いたり言ったりしよう。

表現力：
・学習した表現を使って，あこがれの人物を紹介する。
・聞いた事に対して繰り返したり，質問したりする。

絵カード
（状態や気持ちを表す言葉）

ワークシートの拡大版

単元計画

反応 Words